

JSR Bioscience and informatics R&D center(JSR BiRD)の センター長に新しく就任した古賀様にお話をお伺いしました。



新しくセンター長に就任された古賀裕久様

2021年7月、神奈川県川崎市のキングスカイフロントに開所したJSR Bioscience and informatics R&D center(JSR BiRD)。JSRグループのライフサイエンス研究からオープンイノベーションまでを担う、R&D拠点として、未来に向けた価値の創出に取り組んでいます。今回、4月より新しく就任した古賀センター長に、JSR BiRDの機能や取り組み、ご自身の今後の意気込みを伺いました。

JSR BiRDについて

JSRにはデジタルソリューション事業、ライフサイエンス事業、合成樹脂事業の三本の柱があります。その中で私たちは“ライフサイエンス事業”に関係の深い、マイクロバイオームの分野で薬やヘルスケアに繋がる研究、DDS（ドラッグデリバリーシステム）に活用できる物質の開発を行っています。JSR BiRDは新規事業、新規研究を推進するという目標のもとに設立されました。当センターには現在、専任と兼任を含めて60～70名在籍しています。

キングスカイフロントにおける活動

JSR BiRDではオープンイノベーションを推進しています。実際に複数社と共同研究を行いつつ、これらの企業が当センターに入居し、ラボも一緒に使用しております。その中で、密な交流ができたり、わからないことがあった時に聞きに行ったりできる場として、当センターを活用・提供しています。また、入居企業であればイベントの会場として利用することが可能であり、開催・参加共にできるようになっています。共同研究を前提にスタートアップ企業を誘致し、同じ建物に入居する取り組みは、世界的に見ても最先端な取り組みと思います。

古賀センター長について

実は、私自身は別の会社からJSRに came。最初にいた会社では研究職をしており、その後、戦略企画や事業開発の仕事を通してキャリア形成しました。その経験を経て、現在、JSR BiRDでの研究の社会実装、事業化を推進する役割を担っています。

今後の意気込み

JSRに「MATERIALS INNOVATION」という企業理念がありますが、私たちはものづくりやサービスで社会に貢献していきたいという思いがあります。JSR BiRDにおいては「技術を世間に認められるような価値に変えていくこと」が一番大事な使命であると思っていますので、その目標に向けてしっかり取り組んでいきたいです。



JSR BiRD外観

